

事業所における自己評価結果（公表） 放課後等デイサービス

公表：令和7年2月1日

事業所名 こどもいろたかす

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		身支度、机上活動、集団活動の部屋を分けている	
	②	職員の配置数は適切である	7		利用人数に合わせた職員の配置ができる	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされているか	7		階段はあるが手すりを付けるなど配慮をしている	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		毎月の職員会議で業務の報告、振り返りを行い改善策を考えている	
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			送迎時やおたより等で知らせていく
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか	6	1	毎年行い、結果を公表している	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7		集計して改善策を考え、実施している	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		専門的知識を身に付けるために受講している	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			現在利用者はいないが、モニタリングや家族連携の時に保護者と話し合いを行い、ニーズを踏まえて計画書を作成する
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		基礎調査票を使用し、児童の現状を知れるようにしている	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		月に1回イベント会議を行って意見を出し合っている	
適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		集団活動の担当を決めて、内容が偏らないようにしている	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7		児童の発達状況に応じてプリントを提示している	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7		1人1人の特性に合わせて個別、集団活動の中でできる支援を考えている	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		朝礼にて打ち合わせを行っている	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		終礼にて話し合い、振り返りを行っている	
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		連絡帳やケア記録に特記事項を記入し、必要時は職員間で話し合っている	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		現状を伝えて保護者の意向と擦り合わせを行っている	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	7			現在利用者がいないため、職員間で組み合わせを考える時間を設ける
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		管理者や児発管が参加するようにしている	
	㉑	学校との情報共有（年間計画。行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認など）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			現在利用者はいないが、学校との連携は細かく取るようにしていた
関係機関や保護者と						

この連携関係機関や保護者との連携	㉗	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7			現在利用者なし
	㉘	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7			現在利用者はいないが、児童の様子など共有することが出来ていた
	㉙	学校を卒業し、放課後等ディサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	6	1		現在利用者なし
	㉚	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7		適時行っている	
	㉛	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	1		児童館に行く事はあるが、頻度を増やせるように計画していく
	㉜	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7			まだないが、今後参加していく
	㉝	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		送迎時や家庭連携等で児童の様子を保護者に伝えている	
	㉞	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6	1	保護者から相談があった時には助言している	
	㉟	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に説明を行い、疑問点はないか再度確認を行うようにしている	
保護者への説明責任等	㉟	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		保護者から相談があった時には助言している	
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1		今年度は開催がなかったため、イベントを計画していく
	㉙	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		できるだけ早く返答が出来るように対応している	
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		毎月おたよりを配布している	
	㉜	個人情報の取扱いに十分注意している	7		個人名の乗っている書類は鍵付きの書庫で管理している	
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		メモを渡したり、端的に伝えるようにしている	
	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	1		事業所に招待はできないが、戸外でされ違う事があれば積極的に挨拶等の交流をしていく
	㉟	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		訓練時に連絡帳やおたより等で内容を知らせている	
非常時等の対応	㉟	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		毎月あらゆる災害を想定して訓練を行っている	
	㉞	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		毎月会議を実施している	
	㉙	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で放課後等ディサービス計画に記載している	7		事前に保護者に説明を行い、計画書に記載している	
	㉛	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			現在医師の指示書を必要とする児童はない
	㉜	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		毎週1回作成し、全体会議等で共有している	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。